

# 磯6クラブ通信

(磯部地区地域づくり協議会)

発行日 令和2年2月25日

発行 磯6クラブ

問合せ先 磯部地区公民館

電話 567-2092

・月曜日から金曜日まで

・8時30分～17時15分

## 【アンケートの結果】ご協力、ありがとうございました。

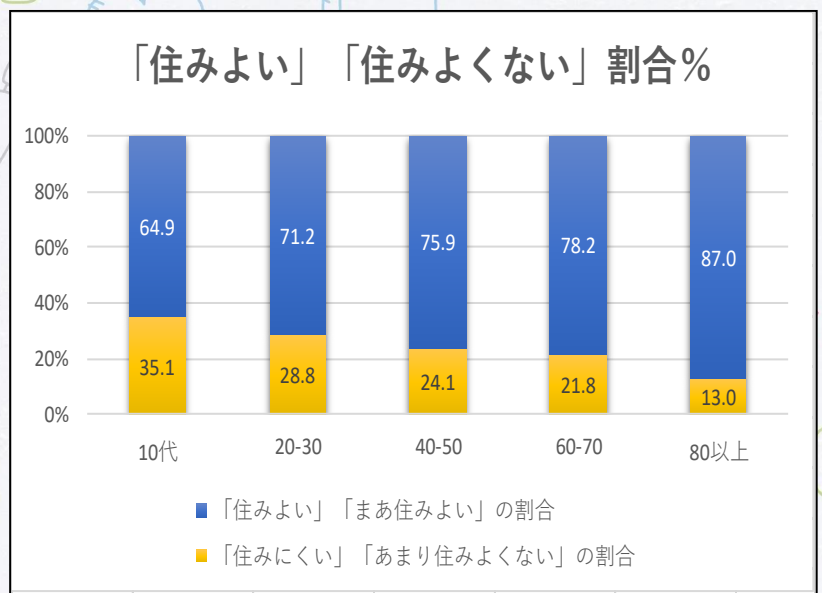
昨年4月に実施しました全地区民対象（中学生以上）のアンケートにつきましては、8割を超える方からご回答いただき、ありがとうございました。その後、「磯6クラブ通信6月号」で速報を行いました。

今号では、詳しく掘り下げて報告します。

### 結果①

質問：磯部地区は、「住みよい」かどうか？ ⇒結果は右表

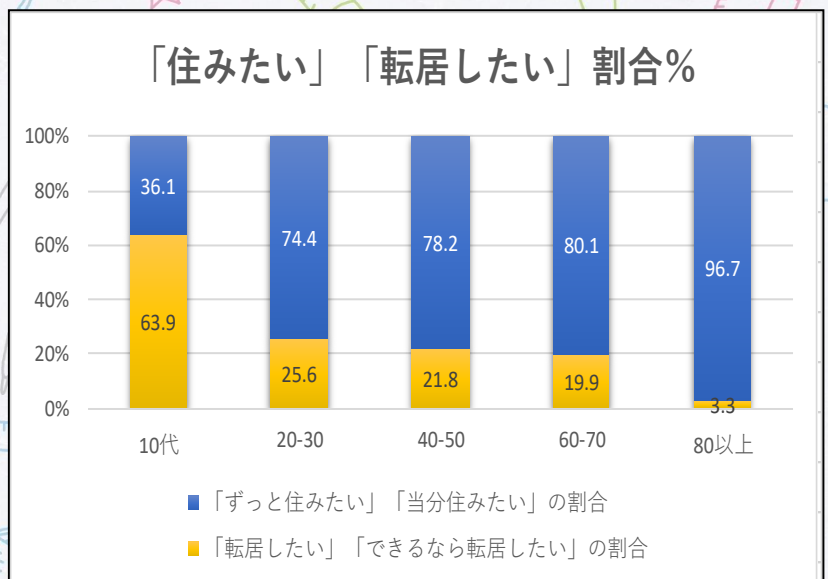
- ① 「住みよい、まあ住みよい」が全体の66%
- ② 10代は、35%が「住みにくい、あまり住みよくない」と回答



### 結果②

質問：今後も住み続けたい？ ⇒結果は右表

- ① 「ずっと住みたい、当分住みたい」が全体の80%
- ② 10代は、64%が「転居したい」と回答

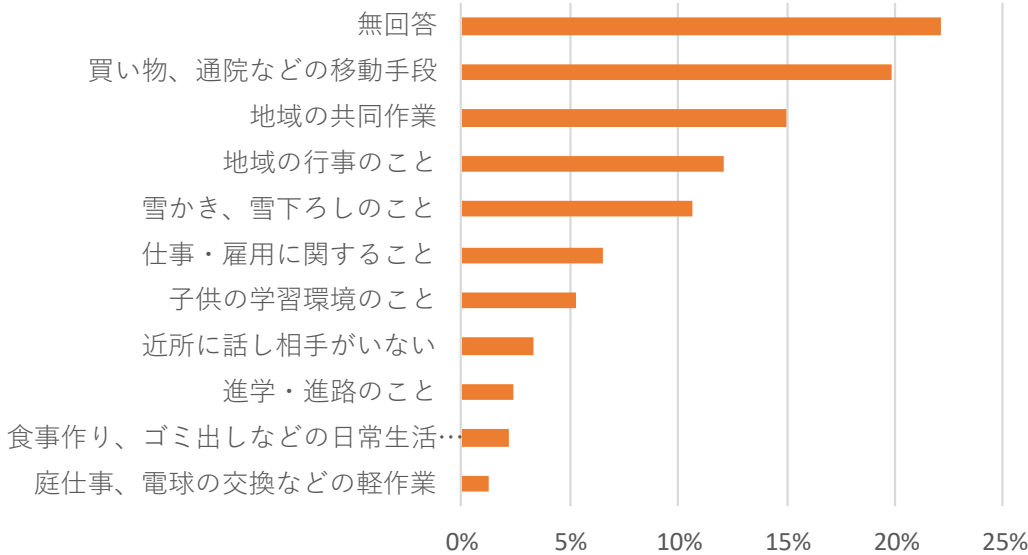


### 結論

これからを担う10代の未成年が、「磯部はいいところ」「磯部に帰って来よう」と思ってもらえるように、地域が一体となって意識する必要があります。



## 「困っていること」、「不安に思っていること」

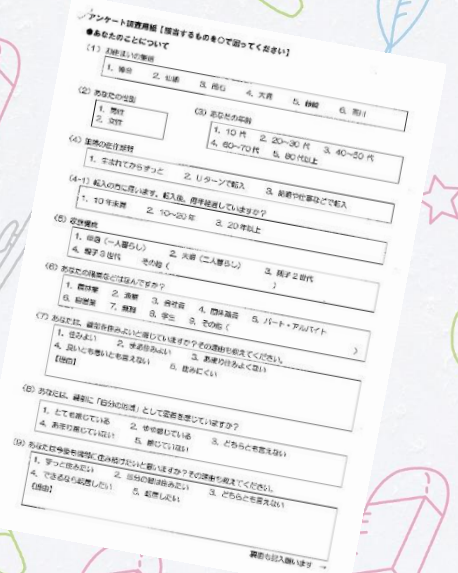


今アンケートの主たる質問「困っていること」「不安に思っていること」の回答です。  
←左表参照

## 結果③

「困っていること」「不安に思っていること」の回答の上位3つは。

- ・ 買い物、通院等の移動手段
- ・ 地域の共同作業
- ・ 地域の行事のこと



## 結論

高齢化に伴う移動手段（足）の問題、そして人口減などにより、区単位で行っている人足作業や各種行事を続けることが大変になってきている状況がうかがえます。

## 磯部の未来へ

この磯部地区は自然が豊かで暮らしやすい所だと言われるのですが、年々少子高齢化が進み、様々な面で暮らしにくさが顕著となっています。例えば通院や買い物へ行くときの交通手段、子供が少ないことによる育てにくさなど、もはや人任せにできない将来にかかわる大きな問題です。

かつて私たちはこれまで様々な困難、疫病や争いを乗り越えて来ました。苦しさの中をお互いに助け合ってきた歴史があります。

「みんな年を取っていく、子供が少ない。」だからこそ、みんなで助け合っていかなければなりません。そうやってこの地域を少しでも魅力あるものにしていけば希望が生まれ、磯部に住みたいと考える人も出てきます。暗い方向を見るのではなく少しでも明るい方向へと私たちは考え、行動します。未来のため一緒に活動しませんか。

磯6クラブ 代表 小林勝彦